

令和5年度2学期終業式あいさつ

皆さん、おはようございます。

今日は、当初体育館での終業式を考えていましたが、寒さ、皆さんの健康、受験を控えた3年生の体調、インフルエンザの流行等を勘案して、急遽オンラインでの実施に変更しました。2学期に表彰された人をみんなで祝福してあげたかったので少し残念ですが、各教室から大きな拍手で祝福してください。よろしくお願いいたします。

早いもので、今年も残すところあと1週間あまりとなりました。今日で2学期が終わりますが、皆さんにとって、今年は、そして、この2学期はどんな学期でしたか？

今日は2学期を振り返りながら、皆さんにメッセージを送りたいと思います。

先ずは9月の体育祭、突然のゲリラ豪雨で午後からの競技が実施できず残念でしたが、雨の中での応援合戦は、熱量と気合がしっかり応援席まで伝わってくる素晴らしいパフォーマンスでした。特に本番までの過程において発揮された2年生のリーダーシップは秀逸でした。10月には1、3年生は遠足、2年生は、沖縄への修学旅行がありました。事後アンケートでの満足度は99.7%。この数値が示す通りとても楽しい修学旅行でした。11月の6年ぶりのオーストラリアバンダバーグ校との国際交流も心温まるものでした。また、昨日は、1、2年生6名が、ベトナム医療ボランティアツアーに向けて関西国際空港から出発しました。貴重な体験を通じて、大きく成長して帰ってきてくれると信じています。

そして、今年には本校創立120周年。11月11日（土）に大東市立サーティホールで創立120周年記念式典を行いました。コーラス部の皆さんとともに全員で歌った校歌、未来を先導していくという決意を力強く語ってくれた生徒会長の記念宣言、先輩から引き継いだテーマ「三好長慶による飯盛城跡における家臣統制」をさらに進化させた人文科学44班の生徒課題研究口頭発表、高校34期でベトナムの赤ひげ先生と呼ばれる服部匡志先生が自らの人生を「Never Give Up」というテーマで熱く語ってくださった記念講演など、心に深く残る素晴らしい記念式典となりました。

服部先生の記念講演では、文系から理系に転じて医学部に合格するのには2年かかるといわれても決してあきらめなかった強い精神力、ベトナムとの出会い、自分が決めたこと

を最後までやり切る「ネバーギブアップ」の生き様など、生徒の皆さんも感じるものが多々あったと思います。

ところで、皆さんは、今年1年を振り返って、今の自分に満足していますか？少し自問自答してみてください。現代は、科学や情報通信技術が急速に進展するのに比べて、人が成熟しにくい時代だと言われています。作家の中野孝次さんは、「若いころ、現在あるがままの自分を自分のすべてと見極める気になれなかった。もっとまじな自分があるような気がいつもしていた」と述べています。今の自分を、ありのままの自分として素直に受け入れることはなかなか難しいことです。私自身も今日に至るまで、ずっと「もっとまじな自分」があるはずだと思って試行錯誤を繰り返してきました。先生方も毎日の授業には決して満足していなくて、もっと良い授業をするために日々研鑽を積んでおられます。私は、中野孝次さんが述懐する「もっとまじな自分」とは、向上心に他ならないと考えています。長い人生を一日に例えれば、皆さんはまだ朝の早い時間を過ごしているにすぎません。これからの長い一日をどのように過ごすのか、どのような道を歩むのか、決めるのは皆さん自身です。「もっとまじな自分」を創り上げるんだという向上心をずっと持ち続け、より成長した自分に出会えるよう頑張ってください。

さて、3年生は、共通テストまで1か月を切りました。不安やプレッシャーを感じている人も多いと思います。2年生はあと1年後、1年生は2年後には同じ立場になります。本校には、暇高生は受験直前まで伸び続けるという伝統があります。本当に入試直前まで伸びるので、どんな状況であっても、自分はまだ伸びると信じて最後まで頑張ってください。大切なのは、「自分を信じること」、「最後まで諦めないこと」、そして何より「体調管理」です。76期生の熱い闘いを応援しています。

最後に2学期は今日で終わりますが、歳末は「ありがとう」という言葉がよく似合います。2学期を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを、できれば「ありがとう」の前に、例えば「お弁当を毎日ありがとう」など一言添えて、家族や友達、先生に表現してみてください。きっと言った方も言われた方も心が温かくなるはずです。では、健康に十分留意して充実した冬休みを過ごしてください。以上で2学期終業式の挨拶を終わります。